平成30年度 第3回西日本放送番組審議会

開催年月日 平成30年6月12日(火) 14:00~16:00
開催場所 西日本放送高松本社 5階役員会議室
委員の出欠 委員総数 8名
出席委員数 7名

出席委員の氏名

高嶋克洋	委員長
河藤明子	委員
鈴木賢史	委員
佃昌道	委員
大倉美恵	委員
小槌和志	委員
森下聖史	委員

欠席委員の氏名

守家祥司	委員(文書)
------	--------

社側の出席者

中村卓朗	(代表取締役社長)
富永久	(取締役総務局長)
吉岡邦男	(相談役)
小野修一	(報道制作局長)
田中哲也	(ラジオセンター長)
采野友啓	(ラジオセンター部長)

事務局

和家剛	(編成業務部長兼放送審議室長)
香川豊宏	(編成業務部兼放送審議室)
山本峰子	(放送審議室)

平成30年度第3回番組審議会議事次第

開催日 平成30年6月12日(火) 14:00~16:00

場 所 西日本放送高松本社 5階役員会議室

〔議 事〕

議事進行 高嶋克洋委員長
社側挨拶 代表取締役社長 中村卓朗

1. 議題 ラジオ番組
『 素晴らしき野球人 中西太のメッセージ 』
2. 質疑応答

〔参考資料〕

- 平成29年度第10回番組審議会議事録
- 視聴者対応 4月
- BPO 報告 No.188
- 民間放送(新聞) 5月23日・6月3日

〔次回開催予定〕

開催日 平成30年7月10日(火) 14:00~16:00

場 所 西日本放送岡山本社 3階会議室

TEL 086-244-0111

議 題 テレビ番組 『 RNC news every. 第3部 』

放送日 平成30年7月3日(火) 18:15~19:00

制 作 RNC 西日本放送テレビ

以上

【6月 議事概要】

今回は、テレビ番組『素晴らしき野球人 中西太のメッセージ』を視聴していただきました。委員の皆さまからは、

- ・中西太さんの回顧録というか、新聞の「私の履歴書」のような、非常によく出来た番組だと思う。ナレーションも含めてとても落ち着いたトーンで、ラジオでありながら映像が浮かぶようないい番組だったように思う。

- ・面白いのは既にアーカイブされているものをリメイクする手法である。どちらかというと映像は古くなるといろんなものが錆びてくるような気がするが、ラジオは声なので錆びていなかった。

- ・小さい頃の生活や文化など、今とは全然違う環境の中で自分の信念を持ち、基礎基本を大切にしているんだという話しは今の時代にも通じるような内容だった。

- ・テレビだと字幕でフォローできるが、音声だけを聞くと、今の声なのか、あるいはいつ頃のものなのかわからないので、ときどきインフォメーションが入っていれば古い音だとわかったのではないかと思った。

- ・ナレーションがとても素晴らしく、そのときどきの素晴らしさがとてもよく伝わってきた。

- ・できれば今の香川県の高校球児たちが中西さんをどう思っているのか。伝説の方だという話だったが、例えば直接は知らないけれどこんな人だったとか、コーチや親からこんなふうにいる等々を入れていただけたら、歴史の流れの中で中西さんの思いは次に繋がっているというのがより鮮明にわかるのではないかと思った。

- ・今年の100回記念に対する特別のメッセージが欲しかったが、30年前の焼き直しでは無理があるような気がする。今の85歳でもいいのではないかと思う。一言、現在の声で今年の球児に対して熱きメッセージを喋ってもらい、それを最後に入れれば、タイトルにふさわしい番組になったような気がした。

- ・最後に、高松一高の元校長先生が故人であり、奥様の了解のもとに過去のインタビューを利用した旨を断っていた点は、さすがに抜かりないなと感心した。等の意見がありました。

制作者側からは、これをもって100回目の高校野球の記念というのは無理だと改めて思いました。本来なら、85歳になられた中西さんからお話を伺うべきだったと感じました。今の時代に通じるものを今の声で聞きたかったというご意見はまさにその通りだと思います。言い訳めいたことにはなりますが、民放の連盟賞の報道部門にだそうと考えています。コンクールには5月末日までに放送したものであるという条件があったため、急いで制作し5月末の放送になりました。7月の高校野球の時期にもう一度放送をと考えているので、そのためにも29年前だけでなく、今だからというものを作るべきだったと思っています。旨が述べられました。